

## 尼崎市立歴史博物館のデジタルアーカイブを公開します

尼崎市立歴史博物館では、従来から、ウェブ上の情報発信やコンテンツサービスを重視し、取り組んできています。このほど、歴史博物館開館3周年を機に、この間進めている MLA 連携推進事業<sup>1)</sup>の一環として、デジタルアーカイブの公開を開始します。

近年、自治体がデジタルアーカイブを通じて、地域の歴史資料を広くウェブ上に公開することが多くなってきています。しかし、これを公文書館（アーカイブズ）事業の基本サービスのひとつと位置付け、特定歴史的公文書<sup>2)</sup>を組織的に掲載・公開している基礎自治体の事例はほとんどなく、全国に先駆けての取り組みとなります<sup>3)</sup>。

今後も引き続き、特定歴史的公文書をはじめとする館蔵資料のデジタル化を進め、デジタルアーカイブへの掲載・公開に努めていきます。

注1) : M (博物館)・L (図書館)・A (公文書館・アーカイブズ) の連携を推進する事業

2) : 「尼崎市公文書の管理等に関する条例」(令和4年尼崎市条例第3号)に基づいて歴史博物館に選別・移管し、広く市民の利用に供する歴史的公文書

3) : 歴史的公文書をデジタルアーカイブに公開する基礎自治体の例として、宝塚市の例がある(西谷村役場文書10件を公開)。都道府県レベルでは、東京都・滋賀県・沖縄県など数千~数万件の単位で組織的に掲載・公開している例がある。

- 1 名称** 尼崎市立歴史博物館デジタルアーカイブ
- 2 目的** 館蔵資料をはじめ尼崎地域の歴史資料をウェブ公開し、非来館者向けの資料利用サービスを実現することにより、本市の歴史・文化の情報発信、イメージアップ等に資する。
- 3 方法** 本市が契約する早稲田システム開発株式会社が提供する I. B. MUSEUM Saas のシステムに館蔵資料等を登録し、同社が提供する検索サイト上に公開する。
- 4 URL** <https://jmapps.ne.jp/8184/>
- 5 公開日** 令和5年10月10日(火曜日) 歴史博物館開館3周年を記念して公開する。
- 6 掲載資料** 計186件
  - (1) 市内指定文化財・登録文化財 43件(全128件のうち)
  - (2) 古文書類(近世絵図) 15件(うち2件は市指定文化財として掲載分と重複)
  - (3) 地図 33件
  - (4) 特定歴史的公文書 97件 大正5年(1916)市制施行以前の尼崎町役場文書全点・全ページのPDF画像を掲載
- 7 広報** 本市公式サイト内の歴史博物館ページにリンクを張るほか、当館公式 SNS 等を通じて広報し、利用促進に努める。

【関連】デジタルアーカイブと同様に、ウェブ上の利用サービス向上の一環として、市立図書館蔵書検索システムに当館蔵書のうち15,100冊を掲載し、検索できるようになりました(令和5年8月18日開始)。

以上



尼崎市立歴史博物館／あまがさきアーカイブズ  
デジタルアーカイブ

キーワード

全ての語を含む いずれかの語を含む

分類

大分類

中分類

小分類

資料名

資料名 (ヨ  
ミ)

所在地

解説

画像有のみを表示

検索    リセット

PICK UP



尼崎市内地図／あまがさき  
／市制施行50周年記念便覧  
(昭和41年、1966)



最新尼崎市精図：付・都市  
計画街路網入（昭和38年、  
1963頃）



田能遺跡出土の遺物



太刀銘守家



尼崎城下風景図(附、尼崎城  
及び城下関係資料)



如来院石造笠塔婆



最新尼崎市街地図（昭和26  
年、1951）



長遠寺多宝塔（附、棟札5  
枚）



実地測量尼崎市街明細全図  
（昭和7年、1932）



又兵衛新田一筆限り総絵図  
明治期（小西久喜氏文書）

〉 PICK UP 一覧

検索トップ 資料情報



尼崎城下風景図

尼崎市立歴史博物館提供写真／二次利用に際しては画像提供機関名を表示してください。



 拡大

## 尼崎城下風景図(附、尼崎城及び城下関係資料)

資料名 (ヨミ)	アマガサキジョウカフウケイズ (ツケタリ、アマガサキジョウオヨビジョウカカンケイシリョウ)
大分類	市内の指定文化財
中分類	尼崎市指定文化財
小分類	有形文化財
種別	歴史資料
指定日	昭和62年(1987)3月30日
所蔵者	尼崎市
別名	
数量	1点
時代／年代	文化12年(1815年)～文政5年(1822)頃
所在地	尼崎市南城内10-2 尼崎市立歴史博物館
解説	この図は、縦72cm、横243cm、江戸時代文化文政時代における尼崎城下の風景を鳥瞰図法によって描いたものです。

東（図の右）は大物町、西（図の左）は出屋敷、南は築地、北は寺町の範囲について家並みの細部にいたるまで書き込まれています。景観の年代は、文化12年に寄進された初島神宮の石燈籠や文政5年に焼失した本興寺の塔が描かれていることから、上限は文化12年（1815年）、下限は文政5年（1822）と考えられます。

絵の描写は概して正確で、近世後期の尼崎城下の様子を知ることができる貴重な資料といえます。

〔尼崎城及び城下関係指定資料目録〕

- 1 御城内坪数 1点 書冊
- 2 安永六年八月 摂津尼崎城濠水石崖図 1点 法量  
92×104cm
- 3 尼崎城惣郭樓垣間数並城下町家数 1点 書冊
- 4 尼崎城堀割図 1点 法量38×68cm
- 5 尼崎城鳥瞰略図 1点 法量58×81cm
- 6 尼崎城下武家屋敷一覧之図 2点 法量83×198cm 1点  
は写
- 7 尼崎城下絵図 1点 法量165×197cm
- 8 尼崎城天守閣及び櫓図 18点 法量各図33×24cm
- 9 尼崎城郭図 1点 法量96×145cm
- 10 尼崎城本丸平面図 1点 法量249×252cm
- 11 尼崎城下家中屋敷町屋他色わけ絵図 1点 法量  
99×217cm

指定目録等参考データ



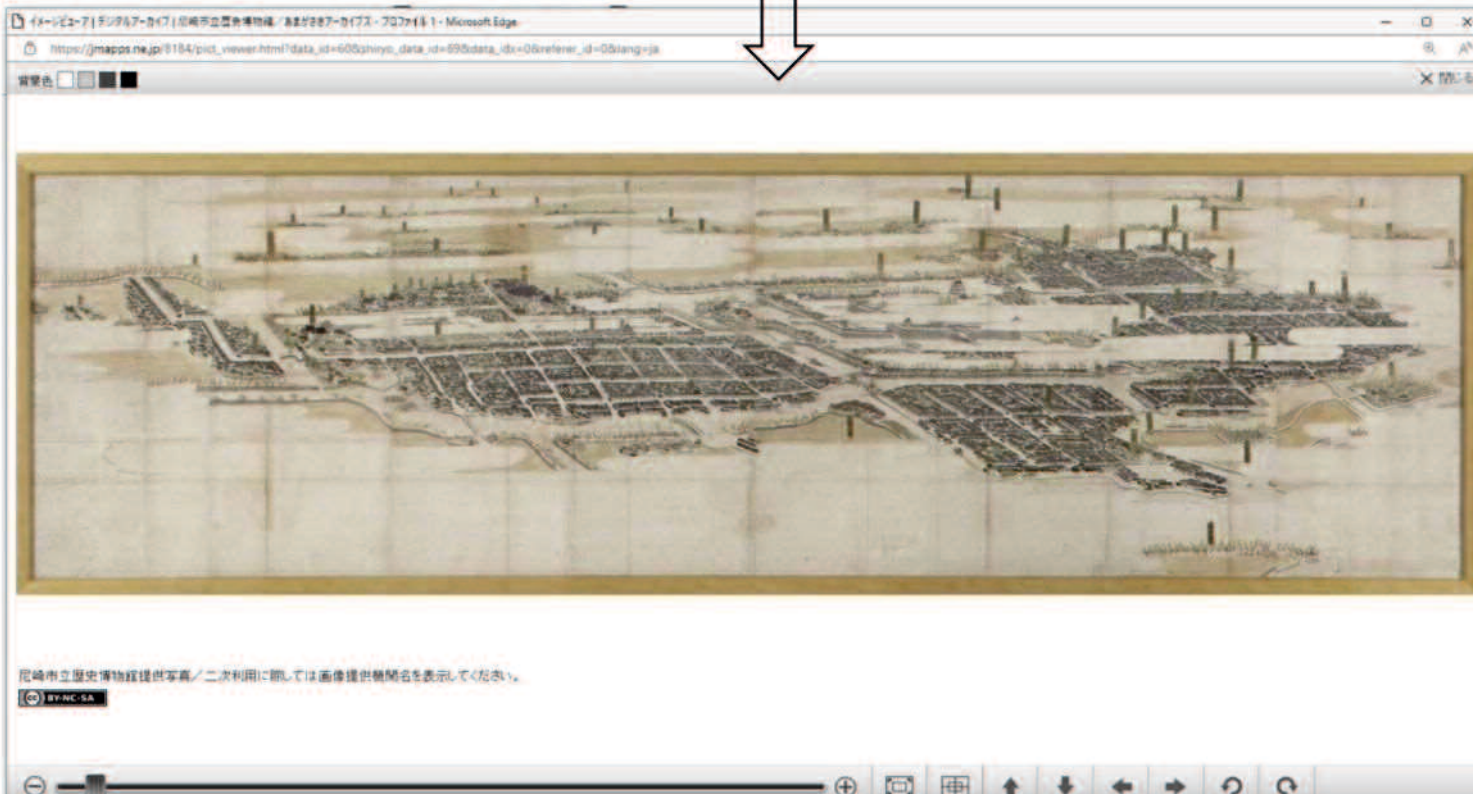
検索トップ

資料情報

クリックして拡大表示



尼崎城下風景図(附、尼崎城及び城下関係資料)



(ツケタリ、アマガサキジ  
ノヨウ)

(1822) 頃

博物館

江戸時代文化文政時代にお  
よって描いたものです。

尼崎市立歴史博物館提供写真 / 二次利用に際しては画像提供機関名を表示してください。





摂州尼崎城絵図 享保初期（1716～1720）頃（加藤省吾氏文書） 上が南

武田壽夫氏撮影／二次利用に際しては、撮影者名及び画像提供機関名「あまがさきアーカイブズ」を表示してください。



拡大

## 摂州尼崎城絵図 享保初期（1716～1720）頃（加藤省吾氏文書）

大分類	古文書・近現代文書類
中分類	絵図類
小分類	尼崎城絵図
所蔵者	個人蔵（尼崎市立歴史博物館寄託）
別名	
数量	1枚
時代／年代	享保初期（1716～1720）頃
所在地	尼崎市南城内10-2 尼崎市立歴史博物館あまがさきアーカイブズ
解説	尼崎城図は、地震や風水害などにより破損した個所の修復を願い出る平面図や、天守・櫓（やぐら）の立面図、本丸御殿の平面図など、いくつかの種類のもので残っています。 この絵図も、そういった尼崎城図のうちの1枚です。本丸や二の丸と

いった区画ごとに、櫓や門、石垣などの構造物が描かれており、区画・石垣・堀などの寸法も細かく記されています。

主として尼崎藩青山氏関連の収集文書からなる加藤省吾氏文書のうちの1点です。

縦35.5cm、横47.5cm

[▲ PageTop](#)

[› 尼崎市立歴史博物館](#)

[シェアする](#)

[ツイート](#)



[検索トップ](#) [検索結果一覧](#) [資料情報](#)

《 [最初](#) [前へ](#) [次へ](#) [最後](#) 》



## 波止場関係書 1882/明治15～1883/明治16

大分類	特定歴史的公文書
中分類	尼崎町役場文書
小分類	
別名	
箱番	尼崎町7
管理番号	100100057
作成局	【尼崎町役場】
作成課	
所管課	
時代/年代	1882/明治15～1883/明治16

波止場関係書 1882/明治15～1883/明治16

あまがさきアーカイブズ提供/二次利用に際しては、提供機関名を表示してください/圧縮版を掲載しています。標本画質画像複製ご希望の方はあまがさきアーカイブズまでお問い合わせください。



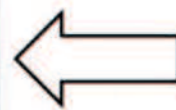
PDFで表示

クリックして全ページのPDFを表示

1035

1661

款	項	目	部
5	8	2	0
保存期間		保存期間満了	
永		年 廃棄済 年 月	
明治		明治	
15	年 1	月~	16 年 12 月
文書名称			
波止場関係書			
主管			
行政課			
保存 尼崎 市			



拡大表示されたPDFデータ



町會議決書

尾崎西

當此... 儲改良工事... 中古彼... 具六... 間ノ箇所修繕ノ儀... 速ニ成功... 遂ク  
船舶入替ノ便得... 且... 且... 且... 且... 且...  
借費額三千百七拾前円九拾四... 四至ノ内全  
千五百以於六月四拾七... 或重... 十五年度  
地方稅手支給... 仲... 對全全額... 十五白  
以於六月四拾七... 或重... 當所ノ... 願...

徴収 スルニ決ス

右及報告 了事也

尾崎町會議決

明治十五年  
十月五日

三浦長平

中長伊達尊親殿



明治二十二年  
七月二十二日

港内破壊修復の事

当り此の港に文に出た四年五月  
十日以前より暴風同船の爲に港の  
中一ノ要路幾多凡南北延長約百三  
間之に堤大破壊となりて國武庫  
出井土砂港内を塞ぎし港は漸次  
船の出入が已ならず廢港に  
外市民營業も保護の爲に  
殊に各港ノ堤を口港ニ係り凡  
堤修築其地土砂採取等

シメニ申す廢港ニ至りては  
市國ニテ港中常に船の  
出入不便を患ふ無之故他國  
船も出入し難し  
一船長も其地を自りて  
多ク天に墜し凡港ノ堤  
解カレ官民共に不便  
徑路一帯は十三年に  
廢港ニシテ加へて市民ノ  
被害甚大なり地増し  
三月十日迄